

第 25 回 JOC ジュニアオリンピックハンドボール大会

戦 評 報 告 書

競技日	平成 28 年 12 月 26 日	種別	中学 男子 ・女子
回戦	準決勝 決勝	会場	浦添市民体育館

チーム A			チーム B	
福岡県選抜			浦添市選抜	
24	11	前半	11	23
	13	後半	12	
		第一延長前半		
		第一延長後半		
		第二延長前半		
		第二延長後半		
		7mTC		

選評委員氏名	照屋 喜隆
<p>男子準決勝は開催地の浦添市選抜と福岡県選抜の九州対決となった。</p> <p>前半、浦添市選抜のスローオフでスタート。出だしは両チームとも得点が取れず、2分が過ぎる。最初の得点は浦添市選抜 5 番伊禮のカットインでゲームが動き出す。対する福岡県選抜も 9 番濱田のミドルシュートで取り返す。その後はお互いに得点を重ね、10 分を過ぎて 4 対 4 の同点。中盤に入りお互いに退場者を出すも、一進一退の展開が続き、前半を 11 対 11 の同点で終える。後半、福岡県選抜 6 番の安松のサイドシュートで始まる。序盤は福岡が素早いボール回しからリズムを掴むが、浦添市選抜 GK 西原がノーマークシュートをセーブ。続く攻撃で浦添市選抜 6 番知念のポストシュートで同点にすると、5 番伊禮、6 番知念の速攻でリードを 2 点とし、流れをつかむかに思われた。しかし、福岡県選抜も 2 番江頭の連続得点で追いつく。中盤に入っても福岡県選抜の多彩なボール回しにより、ノーマークをつくるが浦添市選抜 12 番西原のナイスセーブや、15 番平田のカットイン、5 番伊禮の速攻で後半 17 分、21 対 19 と浦添市選抜がリードする。対する福岡県選抜も 7mT を 11 番福永が冷静に決め、9 番濱田のカットインで同点に追いつくと、5 番早川のカットインで逆転。浦添市選抜も DF を 1 - 5 に変えてリズムを取り返そうとするが、福岡県選抜の鮮やかなポストとのワンツーパスにより 2 点差とされる。最後まで諦めない浦添市選抜も 6 番知念のポストシュートで 1 点差に迫るが、終了のブザーが鳴り、福岡県選抜が決勝に駒を進めた。</p>	